

特集

2018年度都道府県予算 2年連続マイナス
待機児童・貧困対策・教育に手厚く

8

2 片山善博の直言

4 ニュース & インサイド

7 霞が関 底流伏流（農林水産省）
監事からも天下り消える JA改革巡る対決本番

34 グローカルインタビュー
両備グループ代表 小嶋 光信氏

36 フォーカス
深刻化する看護師不足

40 フォーカス
民泊規制条例

44 キーパーソン
総務省地域力創造グループ地域自立応援課長 鈴木 清氏

46 新・奮闘地方議員
東京都北区議会議員 斉藤 りえ氏

48 自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏
意外に小さい政令市の「内部留保」

50 事業承継と地方再生 後藤 俊夫氏 **新連載**
地域を支えるファミリービジネスの秘密

52 観光DMOの生かし方 高橋 一夫氏 **新連載**
DMOとは何か その必要性と概念を考える

54 未来へつなく 子育て支援の現場から 小石 勝朗氏
保育園を考える親の会・普光院垂紀代表に聞く

56 変わる介護保険 自治体の課題 浅川 澄一氏
介護現場から始まる「移民解禁」

58 自治体行政と教育委員会 村上 祐介氏 **新連載**
制度改革でどう変わったのか

60 大学、地域を拓く
同志社女子大 京田辺市の魅力発信

62 議長に聞く
山口市議会議長 重見 秀和氏

63 ニュース・ウォッチング

68 Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉技能五輪栃木大会を機に栃木県が「レガシー継承事業」

昨年11月、第55回技能五輪全国大会が栃木県で開催された。青年技能者に努力目標を与え、開催地の若者に優れた技能に身近に触れる機会を提供し、技能の重要性をアピールす

るのが狙い。美容部門のほか、機械部門（上の写真）などで技術を競った。

これを機に、栃木県は2018年度から「次世代への技能五輪レガシー継承事業」を重点事業として実施する。

県版の技能五輪や小中学生を対象としたものづくりイベントの開催、中小企業の技能向上訓練への助成などを予定。1700万円を計上した。（文＝井上 明彦、写真＝栃木県提供）